

## 『お弁当づくりをしよう』4歳児さくら組 11月 富雄南こども園



### エピソード

ままごと遊びが好きな子ども達。遊んでいる中で、既製のままごと食材が割れてしまい、「どうしよう…」と困っていると「自分でつくってみようよ!」と話し合いました。

おにぎりやお寿司をつくり、「唐揚げもつくろう」「サラダもいるね」「エビフライはどう?」と画用紙やトイレトペーパーなどを使って、様々な食材をつくりました。すると、「食べ物を入れるところつくろうよ」「先生、何かご飯入れるお弁当箱ない?」と遊びに必要なものを自分達で探したり、保育者に尋ねたりしていました。

今では、遊びが始まると食材を机に並べ、バイキングのようにお弁当箱に詰め、「お弁当屋さんですよ~!」「パーティーしよう!」と楽しそうな会話が聞こえてきています。

### 保育者の思い

- ・友達同士でままごと遊びを楽しんでいる子ども達ですが、既製のものだけではなく、自分達で必要なものをつくりながら遊べる楽しさを味わってほしいと思っていました。
- ・それぞれの生活での経験からつくりたい食材を伝え合ったり、どうやってつくろうかを考えたりして、つくっている過程でも友達とのやりとりを楽しんでいる様子にみんなの成長を感じました。
- ・自分達の「したい!」という思いを友達や保育者に伝えたり、イメージが形となって実現していく楽しさを味わっている姿を保護者の方にもお知らせしたいと思いました。

### 子どもの育ちや学び

- ・どうすれば壊れた食材の代わりに新しい食材で遊べるかを考えている。
- ・自分達の生活経験から好きな食べ物やつくってみたいものをイメージして自分なりにつくっている。
- ・友達や保育者との会話の中で様々な言葉や物の名前を習得している。
- ・友達と一緒に話したり考えたりして必要なものを準備して遊びの場を整えている。

### 家庭だったら・・・

- ・園での遊びや活動の楽しかったことや頑張っていることを聞いてみたり、反対に子ども達が園に行っている間のお家の方の面白かったことや驚いたことなどを話したりするのも楽しいかもしれません。
- ・ご家庭で何か困った時などに「こんな時どうしよう?」「こんなものも使えるかな?」など子ども達も一緒に考えてみるのもいいかもしれません。